

# 平成23年度ふるさと雇用再生特別基金事業 (公募型雇用創出促進事業)のご紹介

## 高齢者等要援護者地域生活支援総合事業 ～22年度実績と23年度の取り組み～

地域における高齢者等の要援護者に対する支え合いの体制づくりを進めるため、モデル市町村3か所(南九州市、霧島市、天城町)を設定して地元社協の協力を得ながら住民座談会(延べ12回)、危険箇所調査、支え合いマップづくり、地域生活応援員の養成を行いました。

また、高齢者の地域での「居場所」となっている「ふれあい・いきいきサロン」の活動実態調査を行い、課題を明らかにするとともに活性化の方策を策定し、併せて活動事例集を作成配布することでサロン活動の活性化を図りました。

23年度は、新たなモデル市町村としてさつま町、始良市、錦江町の3か所を設定して住民座談会を中心に支え合いマップづくりや支え合い活動の展開を行う他、県内で「ふれあい・いきいきサロン」が行われている市町村におけるサロン活動支援講座を実施します。



## 安心子育てサポートモデル事業 ～22年度実績と23年度の取り組み～

核家族化の進行、地域とのつながりの希薄化等で広がっている子育てへの不安感、孤独感を解消し安心して子どもを生み育てられる地域の子育て支援体制づくりを進めるため、モデル市町村3か所(日置市、曾於市、湧水町)を設定し、地元社協に職員を駐在させ、社協の協力のもとに子育て世帯や地域住民の子育て支援に関する調査をはじめ、ボランティアの定着を図り、子育てサロンの活動支援や子育て支援ネットワークづくりを行いました。

また、老人クラブに所属する元気高齢者の子育てを通じた社会参加を進めるため、県老人クラブ連合会にも職員が1名駐在し、文化伝承や昔遊び等の支援ができる単位老人クラブの募集や情報紙の作成等も行いました。

当会では、子育て支援のボランティア確保のための「子育て支援プロデューサー養成講座」や子育て支援団体の調査、事例集作成、子育て支援団体の活動活性化のための講師派遣事業等を実施いたしました。

23年度は、新たにモデル市町村として垂水市、奄美市、屋久島町の3か所を設定し、子育て支援のネットワークの設置を急ぎながら、昨年度の事業内容を踏襲しつつ、効率的に事業が展開されるように、子育て支援の「人づくり」「体制づくり」「資源づくり」に向け、取り組んで参ります。

